

# 議会だより みなみさんりく



外で元気にあそぼうよ～伊里前保育所～

No.13

平成21年2月発行

P 2 特集 議員定数を16名に決定！

P 6 町税条例の一部改正など（議案審議）

P 9 ここが聞きたい（一般質問）

P 14 よりよいまちづくりを（委員会調査報告）

P 15 請願・陳情・意見書

# 特集

# 議員定数を16名に決定!

議員の定数は、次回の通常一般選挙より現在の22名から6名を減じて16名とすることが、12月定例会において決定しました。

今回は、今までの調査の集大成として特別委員会における議員定数の決定から、本会議における議員定数条例の制定までの内容についてお知らせします。

## 南三陸町議員定数に関する住民懇談会

平成20年11月17日、町内4会場で議員定数に関する住民懇談会が開催されました。参加者数は、志津川地区15人、歌津地区14人、入谷地区15人、戸倉地区3人、4会場で住民47人からさまざまな意見をいただきました。懇談会のご意見も含め、議員一人ひとりが議員定数について結論をまとめ12月1日の特別委員会に臨みました。

## 議員定数に関する意見(抜粋)

- ▼現在の定数でよい。
- ▼日当制にし1日3万円にするなら22人でもよい。
- ▼定数を増やし、報酬を減じ。
- ▼将来の人口2万人を想定し20人。
- ▼段階にわけ2人づつ減。
- ▼4会場での懇談会、4地区

## あるべき議員の定数は特別委員会での議員の発言からみる

11月17日の住民懇談会と友好町である山形県庄内町との意見交換会を最後の調査と位置づけ、12月1日に議員定数を決定するための特別委員会を開催しました。特別委員会においては、はじめにこれまでの調査の経過と住民懇談会の内容を確認したうえで、議員個々のあるべき議員定数についての発言がなされました。その後、各自の考える議員数を記入する記名投票により、過半数を獲得した議員定数を今後の南三陸町の議員定

- ▼ラス議長で16人。
- ▼16人、報酬額を手取り20万円へ引き上げ。
- ▼理想は16人で、18人が妥当。
- ▼財政状況により16人から18人。
- ▼16名で努力してもらいたい。
- ▼町民生活が大変な時、15人にすべき。
- ▼現在の2/3。
- ▼合併で農業委員は半分に減った。議員の定数も半分でよい。
- ▼10人(1人/1800人)。



▲ 入谷地区懇談会

- 数として特別委員会での決定としました。決定に至るまでの議員個々の発言と記名投票の結果を紹介します。
- 山内 昇一委員 16名  
5名ずつの3常任委員会と議長らの定数である。住民懇談会、住民の意見を聞いた結果である。
- 今野 雄紀委員 20名  
定数を削減すると、若者が議員へ挑戦する機会を奪う可能性がある。議員の報酬は職員と比較して見るべきで、議員数も職員数とのバランスをとるべきである。
- 山内 義申委員 16名  
3常任委員会各5名と議長で16名と考える。県内の議会議員定数の状況、住民の意見による。
- 山内 孝樹委員 16名  
段階的な減数とも考えたが県内の状況、住民意見を聞いたうえで固定した数で決定すべき。財政対策が必要。
- 菅原 辰雄委員 16名  
これまでの議会運営委員会での視察等の結果を踏まえ、また、議会として襟を正す必要があり、行財政改革の意気

- 西城 善昭委員 16名  
住民懇談会でも16名の意見が多かった。
- 星 喜美男委員 16名  
議員活動には最小限必要となるべきである。
- 西城 善昭委員 16名  
住民懇談会でも16名の意見が多かった。
- 星 喜美男委員 16名  
議員活動には最小限必要となるべきである。

- 込みを表すべきである。
- 佐藤 雅昭委員 19又は20名  
定数減になると住民の声を反映できない。
- 小山 幸七委員 16名  
他の自治体と比較しても16名とすべきである。
- 佐藤 門哉委員 18名  
住民の意見反映、町政課題の把握、条例づくり、行政の

- 監視という議会の使命を果たす上で、人口千人に一人の定数が適当である。
- 大瀧りう子委員 20名  
議員の質が問われている。地方議会の本来の役割や合併してまだ日が浅いので、急激な減数は反対である。
- 及川 徹委員 20名  
議会の仕事を考えるとき、執行部のチェック機能である

- ことをモットーにこれまでやってきた。住民懇談会の声として受け止めるには、参加者が少なかつた。報酬を減しても定数は確保すべきであり、段階的に減らすべきである。
- 西條 栄福委員 16名  
住民懇談会、住民の意見を聞いた結果である。財政は厳しい状況にある。議員の機能保持ができる最小の数である。他町と比較しても住民の理解は得られる。
- 千葉 教行委員 16名  
厳しい経済状況にある。議会運営の最小限の数である。
- 鈴木 春光委員 18名  
住民懇談会の声を聞いて、それを反映したり吸い上げたりするにはこの数が必要である。一気に6減する必要はない。新しい議員が出やすい環境を作るべきである。
- 西城 治継委員 16名  
県下の状況も調査した。財政面、委員会構成など今後を見据えて決定すべきである。
- 佐々木 弘委員 21名  
住民懇談会からの意見、財政面の意見もある。定数を減らしただけで財政の健全化は図られるのか、根本的に議論す



▲ 戸倉地区懇談会



▲ 歌津地区懇談会

- 佐藤 栄委員 16名  
議会運営委員会、特別委員会でも調査した。議員に定数減が望まれている。報酬をアップして、若者が挑戦できる環境を作り出すべきである。1150人に1人の議員の割合が適当ではないか。議員活動に専念すべきである。
  - 三浦 清人委員 18名  
議員の使命は何か。財政面での削減が議員の使命にはあてはまらない。住民の声を聞く、1000人に議員1人の割合が適当である。
- 以上の発言がなされ、議長、特別委員長を除く記名投票の結果は、以下のとおりです。

●議員定数16名とすべき  
 山内昇一・山内義申・山内孝樹・西城善昭・星喜美男・菅原辰雄・小山幸七・西條栄福・千葉教行・西城治継・佐藤栄(11名)

●議員定数18名とすべき  
 佐藤門哉・及川徹・鈴木春光・三浦清人(4名)



▲志津川地区懇談会

●議員定数20名とすべき  
 今野雄紀・佐藤雅昭・大瀧りう子・佐々木弘(4名)

### 12月定例会に提案され決定

#### 議員定数条例成立

以上の結果、特別委員会においては、議員定数は16名と決定しました。

12月1日開催の特別委員会

切であり反対する。

○佐々木 弘 議員

財政を問題とし16名では住民懇談会の町民の意向が全然反映されていないので反対する。

○佐藤 門哉 議員

少数精鋭を目指し人件費の削減に努めるべきである。3常任委員会を各5名とし、涌谷町を基準に同数の15名が妥当であり、16名には反対である。

○佐藤 雅昭 議員

若い方々が議員へ立候補しやすい状態の門戸を広げ、その時代時代の町民の意向、行政の推移を見つめ対応すべきと考え反対である。

○三浦 清人 議員

特別委員会での16名決定の理由は財政問題であり、財政を考えれば15名であれば賛成だが、議案は16名であり反対する。

### 反対討論

○大瀧りう子 議員

住民の意思や要求を十分反映できない。16名では町民の負託に応えられないので反対する。

○今野 雄紀 議員

定数15を考え、3常任委員会も、各5名で議長も委員に含め十分活動は可能である。議会の真摯な行政改革が大

### 賛成討論

○佐藤 栄 議員

特別委員会での決定であり尊重されるべきだ。議員発議であり賛成する。

○菅原 辰雄 議員

16名であれば委員会活動、住民の声の吸い上げは可能であり賛成する。

○星 喜美男 議員

住民懇談会の声を尊重し、特別委員会で民主的な記名投票で決定した議員定数であり、賛成である。

○西城 善昭 議員

特別委員会で1年以上調査し、県内初の地域住民との懇談会を開催した。住民の意向、民意を反映し定数16名に賛成である。

### 新しい議会づくりをめざして

議員定数は、議会活動における根幹をなすものです。住民の負託を受けた議員が、明るく住みよい安心安全なまちづくりのため、住民の代弁者として、さらには住民のリーダーとしてその活躍が大きく期待されています。今回、定数を決定した議会

○山内 昇一 議員

特別委員会において一度決定を見たものであり、住民に不信や、迷惑をかけないよう、16名という数字をもって賛成である。

### 記名投票の結果

●賛成12名

山内昇一・山内義申・山内孝樹・西城善昭・星喜美男・菅原辰雄・小山幸七・西條栄福・千葉教行・西城治継・佐藤栄・及川均

●反対(8名)

今野雄紀・佐藤雅昭・佐藤門哉・大瀧りう子・及川徹・鈴木春光・佐々木弘・三浦清人

以上の結果、賛成多数で原案どおり議員定数は16名と決定しました。

## もっと身近に議会中継

### 南三陸 i ネット議会映像(含録画)の公開

議会中継はインターネットで、開会中はライブ映像を、閉会中は録画映像を視聴することができます。

議会だよりでは、紙面の都合上、全ての内容をお知らせすることは困難ですが、映像により詳細に審議の経過をご覧いただくことができます。

#### 【視聴手順】

- ①「南三陸町ホームページ」を開く。
- ②画面左側目次(南三陸 i ネット)の「議会中継システム」をクリック。
- ③議会開会中は「ライブ映像へ」をクリックし、画面右側の「VOD」をクリック。
- ④議会閉会中は「録画映像へ」をクリック。
- ⑤開催年の矢印をクリック。開催年を選択し、クリック。

⑥定例会「〇月」または臨時会「〇月」の各月を選択し、クリック。

⑦画面右側の「VOD」をクリック。(一般質問)を視聴する場合は、「一般質問」をクリックした後、各議員の「VOD」をクリック。





# 議案審議

## 町税条例の一部改正など

今回は、国保条例の一部改正、公の施設の指定管理者の指定は各常任委員会の付託となり、その他の議案は原案のとおり可決されました。

### 町税条例の一部改正

社会福祉法人等への寄付に町県民税が控除。

大瀧りう子議員

問 当町で該当する団体は、社会福祉協議会と旭浦会の2法人である。

### 町営住宅条例の一部改正

入居基準額20万円が15万円に、12年ぶり見直し。

大瀧りう子議員

問 改正の目的は何か。

答 所得調査を踏まえ、低所得者の入居を優先するため、退居者が出るのでは。高所得者は5年間の猶予を設け、住宅斡旋も行う。

### 町道路線の認定

弘川ダム付替道路の一部区間が開通し、旧道部分をより移管し町道として維持管理する。

山内 昇一議員

問 分岐点は立木で見通しが悪い、改善されたのか。

答 樹木は伐採しており全て改善した。

佐藤 雅昭議員

問 新道への取付け部分を整理し、引き受けるべきでは。町に負担のないよう、県に補修後の引渡しを要望している。

大瀧りう子議員

問 (1)補償対象は、2000g以上、33週以上でない対象にならないのか。重度の脳性麻痺児だけか。

答 国からの詳しい資料が不十分であり明確な回答ができない。

佐藤 雅昭議員

問 以上の質疑後、専門的な審議が必要との判断から、所管の民生教育常任委員会に付託審査となった。

平成20年12月25日臨時議会を開催し、民生教育常任委員会での審査報告を得、本案は全会一致で可決した。

### 南三陸町国民健康保険条例の一部改正

産科医療補償制度の創設で保険法が改正され、出産育児一時金35万円を38万円とする。

大瀧りう子議員

問 (1)補償対象は、2000g以上、33週以上でない対象にならないのか。重度の脳性麻痺児だけか。

答 国からの詳しい資料が不十分であり明確な回答ができない。

佐藤 雅昭議員

問 以上の質疑後、専門的な審議が必要との判断から、所管の民生教育常任委員会に付託審査となった。

平成20年12月25日臨時議会を開催し、民生教育常任委員会での審査報告を得、本案は全会一致で可決した。

### 公の施設の指定管理者指定

スポーツ交流村の管理運営を陽光センター共同企業体に指定する提案。

佐藤 門哉議員

問 教育委員会の積算と業者の計画値には差が大きい。収入で利用料増の根拠は。

答 経営努力による利用増で、効果の部分と思う。支出の委託料や人件費の差は。

問 指導員や夜間業務を社員が行うなど効率化が図られる。

問 指定管理料の年・平均813万円削減で満足か。

答 人件費や地元雇用など総合的な比較での評価はできる。



### 石浜漁港工事請負変更契約の締結

平成20年度南三陸町一般会計補正予算

今野 雄紀議員

問 ふるさと納税の次年度の取り組みは。

答 今年度と同じく啓蒙活動を実施する。

佐藤 門哉議員

問 ふるさと納税の活用について寄附者の要望は。

答 ふるさと納税の寄附者の意向は48件で、町づくりが27件、指定なしが21件である。

及川 均議員

問 バットの森とは。

答 平成の森の一角で、企業が事業主体となり、次世代の子ども達に植林の大切さを育むもの。

及川 徹議員

問 バットの木は何年で使用できるか。

答 約20年でバットの材料に使用できる。

佐藤 雅昭議員

問 町民税、固定資産税の収

### 歳入

星 喜美男議員

問 保険証のない子どもの救済策は。

答 新年度、資格証明書交付世帯の中学生以下に短期証を交付する。

大瀧りう子議員

問 活性化対策として、畜産業と土木費に1200万円計上しているが、補正枠をもつと広げられないか。

答 一時的な処置であり、総合的な施策の実施を国・県に要望していく。

山内 孝樹議員

問 町内の分収林面積は。再契約の状況と土地利用策は。

答 合計561haであり再契

### 歳出

鈴木 春光議員

問 町内の学校林の教育への活用は。

答 教育活動に地域資源を活用していきたい。

鈴木 春光議員

問 森林病害虫防除事業は民有地にも適用されるのか。

答 神割地区の地上散布と樹



約も考える。伐採跡地は計画的に植林をする。

佐藤 門哉議員

問 町内の学校林の教育への活用は。

答 教育活動に地域資源を活用していきたい。

鈴木 春光議員

問 森林病害虫防除事業は民有地にも適用されるのか。

答 神割地区の地上散布と樹

幹注入など。国・県の補助は保安林が対象で民有林は対象外である。

三浦 清人議員

問 サケの回帰が年々遅れているが、漁期の見直しはできないか。

答 秋サケ漁期の途中変更は難しいが全国の漁獲調整会議に意見を出していく。

# 一般質問

# ここが聞きたい

## 5名登壇

全長2・7kmの入谷横断線は生活道、産業、観光振興策にも重要で長年の悲願路線である。整備が急務で、特に狹隘、崩落箇所もあり、急カーブで見通しも悪い。更に広域観光、グリーン・ツーリズムも実施中で観光客や地域民の安全性が大事と思うが、以下の点を伺う。

(1) 当面の計画策定は。  
 (2) 国、県などの補助事業導入



### 総括質問

## 入谷横断一号線早期着工を

山内昇一議員

### 厳しい財源の中、徐々に進める

の見通しは、  
 (3) 町民バスでの通学生の交通、町民の通院、通勤の中で交通の安全性が欠けているのではないか。

町長

道路は町民の日常生活上、重要な社会資本である。整備は通行量や費用便益だけではなく、効果が大切で、地域振興、防災対策にも着目し、整備に努める。

(1) 長年の要望は認識しているが、多額の費用を要する。今後、地域懇談会で理解を得て必要な資料の作成に着手する。

(2) 国の整備計画を見直しているが、自治体の判断に沿った計画を要望する。

(3) 入谷横断一号線の防災、防犯、交通安全の面でも共通認識である。又10億円を超える事業費が予想されることから区間を決め、拡幅工事や交互



▲ 安全の確保を急げ

通行出来る様に徐々に進めたいと思う。しかし、現在国会で道路特定財源の審議中であり事業を取り組むに当り頑張っていく。

問 林蔭小学校の統合から10年程となるが、真に必要な通学路として地域から合併前に要望された経緯がある。又、来年には入谷中学校も統合と

答 通学生の交通手段はスクールバスの運行を進める。保護者の意見も聴き取り、安全で利便性の高い運行を心がける。

なり、通学生も増加し、防犯上も不安である。平成15年度の地震時には、高さ10mの崖の崩落災害が発生し、日常生活上、地域民は約1ヶ月間完全通行止め生活に支障を来した。近い将来高い確率で発生すると言われる大地震の想定の中、再び災害の危険性がある。安全安心の町づくりの観点から、早期着工に向けての実施の考えを問う。



### 土木費

及川 均議員  
 問 道路整備に関し、国の財政対策が不透明だが。  
 答 道路特定財源は大変厳しい状況だ。  
 小山 幸七議員  
 問 請願の志津川小学校通学路線は、清水・荒砥小学校の統合通学路であり、国道45号線の迂回路にもなる。早めの

達成を。

答 請願を受け現地調査、事業費を算定中。事業費に対しての効果も検討中である。

佐藤 栄議員

問 Cクラス土木工事請負業者数は、地域経済活性化対策費を増額できないか。  
 答 Cクラスは12社。予備費から充当し畜産と土木関連で精一杯である。

西城 善昭議員

問 病院裏の水路の整備で逆流は防げるのか。  
 答 計画では、河口部の整備は無い。事業費が大きい為、今後国・県と協議し対応する。

三浦 清人議員

問 制限付一般入札で一社のみ応募の時、公正取引委員会への報告義務は不用か。  
 答 参加は自由であり、一社でも実施可能である。

### 教育費

菅原 辰雄議員

問 統合に向け交流しているが、いじめの問題はないか。  
 答 統合に向け不安の無いように対応させる。

今野 雄紀議員

問 中体連補助金に補正した

内容は。

答 歌津中学校の剣道部上位入賞である。

佐々木 弘議員

問 学校での身体障害児に対する受入体制は十分か。  
 答 車イスの児童も支障のないようスロープなどの工事を進める。

### 介護保険特別会計

大瀧りう子議員

問 介護保険認定によるシステム改正の目的は。  
 答 コンピューターにより、一次、二次認定変更をする上でシステム改正が目的である。

### 公共下水道事業特別会計

佐藤 雅昭議員

問 水質検査の減額内容は。  
 答 志津川・歌津処理区を一体とした見積りの結果、大幅に引き下がった。

### 水道事業会計

佐藤 雅昭議員

問 加入者負担金が増となった理由と、雑収益の内容は。  
 答 当初より17件が加入された分である。雑収益は災害時に出向いた協力金としての収益である。

### 病院事業会計

大瀧りう子議員

問 6月採用となった看護師は基準に見合った増員か。  
 答 2名の採用で基準ぎりぎりの体制である。

及川 徹議員

問 看護師募集も余裕ある採

益である。

用を考えてはどうか。

答 自治体病院の使命と受け止め、十分に認識をし、取り組んでいきたい。

佐々木 弘議員

問 病院経営状況と共に町の繰出し金内容も町民に知らせるべきでは。  
 答 広報等で病院経営状況は明確に示している。





▲ 保育所の新築を急げ



志津川保育所は昭和50年に新築され、築33年になる。老朽化が進み狭隘な保育施設に、0歳から5歳まで現在125人が保育を受けている。特にトイレは和式で数も少なく、オムツをはずすためのト

### 早期に複合施設として新築する

**一問一答**  
**志津川保育所の新築を**  
大瀧 りう子 議員

レーニングも難しくなっている。また、昼寝の場所として使われている建物は、旧高時代の建物の、屋根や窓は老朽化が進み地震や強風時には危険であり、早期に新築が必要ではないか。

### 公園設備の定期点検と整備を

当町には20カ所の公園施設がある。各々、自然公園法、森林法、都市公園法等によって管理所管が違っている。安全面からも管理上からも、一本化して定期的な点検と整備が必要ではないか。

### 管理を一元化し定期的に点検する

管理体制を一元化するのには問題ない。遊具の保守点検は定期的に行っていく。尚、学校施設、保育施設は月1回行っている。



▲ 各公園の管理の一本化を図れ

### 住宅耐震改修に助成を

### 耐震改修促進計画を策定し進める

近い将来99%と予想される宮城県沖地震の対策には、一般住宅の耐震改修が遅れている。岩手・宮城内陸地震でも94%が危険とされているのが木造住宅である。国は4月から改修の助成制度を緩和している。また、避難弱者住宅耐震改修事業に県では15万円の補助事業を行っている。これらの補助事業を活用し、町民への啓発と耐震改修への助成制度を充実させる考えは。

**一問一答**  
**学力向上への取り組みは**  
佐藤 門 哉 議員



### 教師の指導力向上と家庭との連携が必要

就任時の所信の進捗状況は。教育長 学校教育では教育環境の整備（入谷小学校舎の落成等）と学力向上に努力し、社会教育ではジュニアリーダーの活動と育成に力を注いだ。

### 高齢者介護施設の整備時期は

### 21年度、公募し誘致したい

安全、安心な町づくりを指しているが、高齢者介護施設の入所状況と待機者数は。町長 慈恵園は満床、その他の施設も満床に近い。複数応募を除き待機者は37名である。

安全、安心な町づくりを指しているが、高齢者介護施設の入所状況と待機者数は。町長 慈恵園は満床、その他の施設も満床に近い。複数応募を除き待機者は37名である。

あり、来年、公募で誘致したい。町のぞみ福祉作業所は21年4月社会福祉法人「洗心会」へ委託予定だが、その後の経過は。

### 合併の効果と課題は

### 優先度の高い事業は完了

南三陸町が発足し、三年が経過した。新町建設計画で、地域の飛躍と発展が図られたか。

南三陸町が発足し、三年が経過した。新町建設計画で、地域の飛躍と発展が図られたか。町長 斎場、入谷小、名足保育園等、優先度の高い事業は終了した。合併効果は行政コストの削減、組織の機能強化や地域ブランドが高まった。



▲ 学力低下に歯止めを

一問一答

まちおこしに「軽トラ市」の導入を

今野雄 紀議員

農協女性部の朝市との連携も可能である



近隣では「軽トラ市」を開催してまちおこしをしている。それは、ゆくゆくは、遊休農地の解消や四国の葉っぱビジネスのようなお年寄りの生きがいづくり、そして国保抑制を含めた健康増進など、いろいろな効果や効用が期待される。当町においても、地産地消、食の安全、そして農



▲ 地産地消の推進を

業振興、漁業振興などの方策の足がかりとして、産地直売所、農協、漁協、商工会などと連携し、「軽トラ市」の導入を検討する必要があるのではないかと。町長

近年、「軽トラ市」という名称で地場産品を販売するところが増えている。近隣では

気仙沼の新月で人気を博している。「軽トラ市」は、産地直売所における販売形態のひとつで、売り場をトラックの荷台とするため、準備や撤収が楽で、販売のための店舗の整備に経費がかからないのが魅力である。消費者側にとっても、地物の新鮮な商品を農家から直接買える魅力がある。常設でないイベント的で、ついぞいってみたいくなるような効果もあり、販売形態としては有効性はあると理解している。農家にとっては販売機会の増加、生産意欲の向上につながり好ましいことと思われるが、反面、継続性のある形での実施には、消費者を満足させる程度の品数を安定的に出荷する必要があり、ある程度の生産者がまとまって行う必要があると思っている。当町においては、産直施設が増加して、かなりの農家が供給源として定着している。また、産業まつりやおそば祭りをはじめ、各種地場産品の物販イベントが多くある。農家にとっては、販売機会はある程度満たされている状況だと思っている。さらに販売機会を求めて「軽トラ



▲ 農業振興・漁業振興へつなげ

市」に関心を寄せる農家については、農協女性部が毎週日曜日に開催している南三陸ふるさと朝市があり、軽トラ市の販売形態で運営しているの

で、連携して販売することも可能だと思われる。今後は、物販イベントに「軽トラ市」の形態を取り入れる工夫も検討してみたい。

問 農産物は販売機会に恵ま

れているようだが、海産物に關しての普及にも力を入れ、例えば「山トラ市、海トラ市」の名称で実施できないか。

答 魚介の販売は、冷蔵設備が必要となり、日常使用している軽トラでは、食品衛生上と設備費用を考慮すると難しいと思われる。

一問一答

DC後の具体的な観光施策は

菅原辰雄 議員

継続的な取り組みを行う



10月1日から仙台宮城デステイネーションキャンペーンを展開中で2ヶ月になるが、町としてここまでの成果や課題も見えたと考える。それら

をふまえた今後の具体的な観光施策を伺う。

町長

DCを観光振興の基盤づくりの機会にと地域一体での受け入れ体制づくりや人材育成に取り組んできた。具体的に

は

(1)観光情報のワンストップ窓

※観光庁：「観光立国」の推進体制を強化するため、平成20年10月1日に発足。国土交通省の外局に位置づけられる。

口（情報の一本化）。南三陸時間旅行サポートセンターの機能充実。観光協会の体制強化など。

(2)地域資源を生かした教育旅行や子供農山漁村交流プロジェクトを積極的に推進するため長期宿泊体験活動の受け入れ体制や体験メニューの整備

農林漁家民泊の推進等グリーンツーリズム関係者と連携。

(3)宿泊施設、飲食店、観光施設、地域ガイド、おさかな通り等地域内で連携を図ってきた。今後もパートナーシップを形成し地域振興を図りDCを一過性とせず継続的な取り組みとして観光客が何回も来



▲ 地域資源を観光に生かせ

るべきと考える。

問 田東山観光等本吉気仙沼との広域連携の進捗状況は。

答 田東観光は民間で協議中である。広域観光は観光庁より全国16ヶ所で東北は3ヶ

識しており、体験観光や教育旅行の受付から料金精算まで全て行い旅行会社や学校が安心して頼める体制づくりなどサポートしていく。

問 長期宿泊で受け入れ家庭も大変ではないか。登米市などとの広域連携も考えては。

答 ビジネスとしてやるべき。普通の生活を体験させれば良い、自分達でやる分はやるべきと考える。

問 田東山観光等本吉気仙沼との広域連携の進捗状況は。

答 田東観光は民間で協議中である。広域観光は観光庁より全国16ヶ所で東北は3ヶ



▲ 「おもてなし」の地域づくりを

教育旅行や子供プロジェクトの宣伝活動には町の応援が必要だが。

答 官の信用の大きいのは認

所が認定。そのうち1ヶ所が伊達な広域観光圏で、岩手県南など6市4町で構成され、当町が教育旅行部会の幹事町である。ポストDCと認識している。

問 観光施設の修繕と同じに自然環境保全に予算措置は。

答 環境が売り物であり保全していく。皆で環境整備に取り組んでいく。

問 DCでの成果は。

答 いろんな人から町の取り組みが評価されネットワークが培われた。33名の地域ガイドが誕生し人材育成と意識の高揚に繋がった。

# よりよいまちづくりを

## 総務常任委員会における調査

平成20年8月19日白石市においてふるさと納税について現状と課題について視察調査を行いました。

### ○調査の目的

ふるさと納税は、「ふるさと」や「応援したいまち」に寄附金という形で貢献することが出来る制度。5千円を超える寄附を行った場合に、一定額を限度として、5千円を超える部分が所得税と個人住民税から税額控除される。都市に居ながら地方を支援することを目的としている。地方における主体的生活者が増えつつあるものの、依然、大都市に産業や税金が集中する事が大きく懸念される現状にある。地域への工場誘致や、ふるさとUターン等の推奨等、地道な活動はしているが、今こそ地域主権を実現するための新しい税財政を確立する必要がある。本町でも、本制度を

### ○調査結果

本制度は地方と都市の格差によって、各自自治体の税収減が顕著となっている。格差是正を推進するため、国が4月に地方税制を改正した。「ふるさと」のために役立ちたいという思いを大切にすることから寄附者は出身地に限らず、全国の都道府県・市区町村の中から自由に選べる。白石市では前述の通り、早い時期に検討を開始し、6月6日には概要を決定し、受付を開始している。8月18日現在、寄付者6名で7万3千円となっている。この事は平成17年より、「しろいしファンクラブ」が発足し、活動していた

ことがその二因と考えられる。本町では9月議会において「ふるさとまちづくり基金条例」が審議、制定され、10月1日から受付を開始している。人口減少などで町税収が伸び悩み、厳しい財政状況が続く本町にとって、新たな財源として期待される制度である。しかし、寄附者は寄附先を自由に選べる制度でもあり、カギを握るのはPR手法と応援してもらう事業のメニューである。本町でも、ホームページや広報への掲載、東京・仙台町人会、同窓会などの中央人脈を活用し、推進する事している。地域間競争に遅れをとることのない様、積極的な対応を望むものである。

### ○南三陸町ふるさと納税寄附状況

平成20年12月末現在で70件で500万円に達しました。



▲白石市役所にて調査

## 今後の 委員会活動

### 議会運営委員会

議会の運営に関する事項

### 総務常任委員会

主要事業と財政について

公の施設の指定管理者の指定について（議案第90号）

### 産業建設常任委員会

農業振興について

### 民生教育常任委員会

後期高齢者医療制度について

### 議会広報に関する特別委員会

議会広報及び公聴に関する調査

### 三陸縦貫自動車道建設促進に関する特別委員会

三陸縦貫自動車道建設促進に関する調査

### 議行財政改革に関する特別委員会

議会における行財政改革に関する調査

# 請願・陳情・意見書

今定例会は、委員会に付託されていた「戸倉小学校新体育館建設に関する請願書」「保険でよい歯科医療の実現を求める意見書採択に関する陳情書」の審査報告、意見書の提出1件が出されました。その内容についてお知らせします。

## 戸倉小学校新体育館建設に関する請願書

戸倉小学校体育館は、経年劣化の影響で危険な状態にあります。子供たちを、安全な環境の中で、心豊かな教育と健全な育成が出来るよう、地域の活動の拠点となる施設が一日も早く実現できるよう配慮していただく事を、強くお願い申し上げます。

請願者：戸倉小学校新体育館建設促進  
委員長 小野寺文則

上記の請願書は、平成20年6月定例会に提出され、民生教育常任委員会に付託されていた。

審査の結果12月定例会において採択され、請願者及び執行機関に送付されました。



▲戸倉小学校体育館現地調査

## 保険でよい歯科医療の実現を求める意見書

歯科医療従事者が歯周病の治療・管理が十分にできるとともに、保険でより良く噛める入れ歯を提供できるなど、保険でよい歯科医療が行えるよう、また国民が安心して歯科受診できるように、下記の事項の実現を求める。

1. 患者窓口負担を軽減すること。
2. 良質な歯科医療ができるように診療報酬を改善すること。
3. 安全で普及している歯科技術を保険がきくようにすること。

この意見書は採択され、国の関係機関に送付されました。

## 保険でよい歯科医療の実現を求める意見書採択に関する陳情書

歯周病治療や義歯治療が保険では十分にできず、「保険の利く範囲の拡大を」という国民の要望に応えられない状況におかれています。制度の改正について意見書を国に対し提出することを陳情いたします。

「保険で歯周病の治療・管理が十分にできるとともに、保険でより良く噛める入れ歯が提供できるなど、保険でよい歯科医療の実現を求める」

陳情者：宮城県保険医協会理事長  
郷家 智道

上記の陳情は、平成20年9月定例会に提出され、民生教育常任委員会に付託されていた。

審査の結果12月定例会において採択、右記の意見書が議員発議により審議に付されました。

## 議会の傍聴をしませんか。

3月3日(予定)に定例議会が開かれます。

- 議会を傍聴する方は議会事務局で、住所、氏名を傍聴受付簿に記入するだけです。
  - 日程等詳しいことは議会事務局にお問合わせ下さい。
- ▶ 議会事務局 TEL46-1375



# わたしの意見 あなたの提言

## 笑顔溢れる挨拶の町に

志津川 五日町 佐藤 信一



「おはよう」「おはようございます」と挨拶を交わした後、私はとても清々しい気持ちになります。私は町交通指導隊に所属しております。定期的に志津川小入口に立って交通指導を行っています。

子供たちは重いランドセルや学生力パンを持って登校して行きます。私が声を掛ける前に元気に挨拶をしてくれるお子さんから、恥ずかしそうに下を向いたままの子もいます。挨拶は朝に限らず一日の基本、人の基本です。よく「今の子は全々挨拶がないねえ」と聞く事がありますが、子供だけでは無く大人にも言える事ではないで

しょうか。

毎年、春と秋に交通安全運動が行われますが、同時に挨拶運動も皆さんで行いましょう。挨拶されてイヤな人はいません。人の挨拶を待つのではなく、自身から積極的に声を掛けましょう。今、世の中は「知らない人には声を掛けない」風潮にあります。それがあまりにも哀しい事は皆さんも感じていると思います。

観光の町「南三陸」は景色、料理、人情と元氣な挨拶が飛び交う町であれば、この町を訪れる人たちもきっと良い印象を持ってくれると思います。そして何よりこの町が、どの町よりも素晴らしい、笑顔溢れる町になると信じています。南三陸町が日本一の挨拶の町でありますように！

## 町財政は大丈夫か？

歌津 吉野沢 小野 清一郎



村井知事は新春インタビューで、今後5年間で1300億円以上の財源不足が見込まれるという、県の財政が非常に厳しい見通しを述べている。

その対策の一つとして職員給与5・5%カットが労使交渉の結果決まったと報じられた。

財政再建団体に転落という芳しくない事態も近い将来視野に入ってきた様に思われる。

さて南三陸町の財政は大丈夫なのだろうか。

12月の広報に南三陸町連結バランスシートなるものが記載されており、全ての指標で「基準以下」（健全域）でしたとまとめている

が、今後の見通しについては全然触れていない。特に昨今の景気後退のスピードを考えると非常に心配になってくる。

町長も厳しい町財政という言葉を度々用いているが、その厳しさの程度、そして今後の展望について具体的に言及していない様だ。

町議会の定数は今年選挙から6名減の16名となった。定数減に伴い議員1人当りの守備範囲が広くなり、アンテナをより高くして町民の意向をつかまなくてはならない。アンテナを高くすると同時に隅々まで眼を届かせる眼力が必要となってくる。

町当局との連携を密にして町内の景気回復と町民福祉の向上に更なる尽力を期待して止まない。

## 編集後記



先般住民懇談会を開催し、議員定数削減について、皆様のご意見を伺いました。4か所47名とあまりにも少ない出席者に啞然としました。意見は種々伺いました（特集でお知らせしました）が、今後も町民との対話を重ね、町民の悩みと声をくみ取るよう調査研究を進め、町民福祉の向上と地域社会の活力ある発展を目指し、積極的に努力をして参ります。

英国の政治家エドマンド・バークの言葉「議員は良心と自由な判断によってのみ国民の一般的利害を代表する」

委員 佐藤 雅昭

